

熊本県教育委員会の点検及び評価報告書（令和5年度対象） 概要

1 報告書について

- 本県教育行政の効果的な推進及び県民への説明を目的とし、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施した。

2 報告書第1部 教育委員会の活動状況

- 教育委員会（教育長、教育委員5名）は、会議や学校訪問等を実施した。
 - ・会議の開催（定例会12回）
 - ・学校等訪問（5校）
 - ・学校行事への出席（記念式典4校、卒業式11校）
- 教育委員会の活動内容について、マスコミへの情報提供とともに、広報誌やホームページ等を活用して情報発信を行った。

3 報告書第2部 「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」に関連する教育施策の実施状況

- 「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」で設定している全15の指標のうち、策定時に比べ改善した指標は10指標、横ばいは4指標、悪化した指標は1指標となった。
また、プランの最終年度である昨年度の目標値達成状況について、「達成」は3指標、「概ね達成」は4指標、「未達成」は8指標となった。
- 令和5年度の主な取組、課題・今後の方向性について掲載。課題や今後の方向性については、現在作成中の第4期熊本県教育振興基本計画にも反映し、課題の解決や状況の改善を図る。

■ 指標の動向

～全15指標(★うち「夢を実現する重点取組」の目標指標12指標)～

【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上

指標名	策定時	目標値	R5実績値	策定時比	目標値達成状況
保護者が家庭教育について学んだ園・学校の割合(★) (「親の学び」講座等を実施した園・学校の割合)	就学前 34.4% 小学校 99.6% 中学校 97.4% <R2.3>	就学前 50% 小学校 100% 中学校 100% <R6.3>	就学前55.1% 小学校100% 中学校100% <R6.3> (参考) R4実績値 就学前 35.4% 小学校 99.6% 中学校 98.3% <R5.3>		達成

【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

指標名	策定時	目標値	R5実績値	策定時比	目標値達成状況
いじめを受けた児童生徒で、誰かに話をした、又は自分で解決できると答えた割合(★)	80.4% <R元.12>	100% <R5.12>	81.5% <R5.12> (参考) R4実績値 79.8% <R4.12>		未達成
不登校の児童生徒が、教職員だけでなく専門家からの支援を受けている割合(★) (公立小中学校)	89.7% <R2.3>	100% <R6.3>	95.9% <R6.3> (参考) R4実績値 94.7% <R5.3>		未達成

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

指標名	策定時	目標値	R5実績値	策定時比	目標値達成状況
児童生徒の学力が向上した割合(★) (小中学校) (全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った項目数)	1/5項目で全国平均を上回る <H31.4>	すべて全国平均を上回る <R5.4>	全国平均を上回った項目なし <R5.4> (参考) R4実績値 1/6項目で上回る <R4.4>		未達成
生徒の学力が向上した割合(★) (高等学校) (「高校生のための学びの基礎診断」で学力が向上した生徒の割合)	52.9% <R2.3>	65% <R6.3>	51.6% <R6.3> (参考) R4実績値 52.5% <R5.3>		未達成
児童生徒の体力が向上した割合 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を上回った種目数の割合)	70.6% (24/34種目) <R元.12>	100% (34/34種目) <R5.12>	79.4% (27/34種目) <R5.12> (参考) R4実績値 73.5%(25/34種目) <R4.12>		未達成

【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える

指標名	策定時	目標値	R5実績値	策定時比	目標値達成状況
児童生徒が切れ目なく支援を受けられる割合(★) (個別の教育支援計画の小中学校から高等学校までの引継ぎの割合)	64.7% <R2.9>	100% <R6.9>	97.7% <R5.9> (参考) R4実績値 96.0% <R4.9>		概ね達成
特別支援学校において生徒が就職できた割合(★) (就職希望者数に占める就労継続支援A型を含む就職者数の割合)	88.7% <R2.3>	100% <R6.3>	99.4% <R6.3> (参考) R4実績値 98.6% <R5.3>		概ね達成

【基本的方向性5】キャリア教育の充実とグローバル人材の育成

指 標 名	策 定 時	目 標 値	R5実績値	策 定 時 比	目 標 値 達 成 状 況
高校生（全日制）がインターンシップを体験した割合（★）	70.2% <R2.3>	80% <R6.3>	91.3% <R6.3> (参考) R4実績値 63.6% <R5.3>		達成
生徒が英語力を身に付けた割合（★） (中3：英検3級相当取得率 高3：英検準2級相当取得率)	中3 27.1% 高3 32.9% <R元.12>	中3 40.0% 高3 45.0% <R5.12>	中3 36.4% 高3 32.9% <R5.12> (参考) R4実績値 中3 34.4% 高3 30.8% <R4.12>	中3 高3	未達成

【基本的方向性6】魅力ある学校づくり

指 標 名	策 定 時	目 標 値	R5実績値	策 定 時 比	目 標 値 達 成 状 況
入学を希望する生徒が増加した県立高等学校の学科・コースの割合（★）	50.3% <R2.9>	80% <R6.9>	52.8% <R5.9> (参考) R4実績値 60.8% <R4.9>		未達成

【基本的方向性7】子供たちの学びを支える

指 標 名	策 定 時	目 標 値	R5実績値	策 定 時 比	目 標 値 達 成 状 況
教職員の時間外在校等時間が年360時間以内となっている割合（★）	45.6% <R2.3>	100%に向け 前年度より増加 <R6.3>	55.4% <R6.3> (参考) R4実績値 54.7% <R5.3>		概ね 達成 ※R2→R3 で0.2%減
学校における情報化が先進的である地域の数（★）	[市町村立学校] 3地域 [県立学校] 0地域 <R2.3>	[市町村立学校] 44地域 [県立学校] 1地域 <R6.3>	[市町村立学校] 44地域 [県立学校] 1地域 <R6.3> (参考) R4実績値 [市町村立学校] 38地域 [県立学校] 0地域 <R5.3>		達成

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

指 標 名	策 定 時	目 標 値	R5実績値	策 定 時 比	目 標 値 達 成 状 況
地域に総合型地域スポーツクラブが設置されている割合	91.1% (県内における総合型地域スポーツクラブ設置市町村 41/45市町村) <R2.3>	100% <R6.3>	91.1% <R6.3> (参考) R4実績値 88.8% <R5.3>		未達成

【基本的方向性9】災害からの復旧・復興

指 標 名	策 定 時	目 標 値	R5実績値	策 定 時 比	目 標 値 達 成 状 況
文化財（国・県指定、国登録）の災害復旧が進んでいる割合 (令和2年7月豪雨)	0% <R2.7>	85% <R6.3>	83% <R6.3> (参考) R4実績値 76% <R5.3>		概ね 達成

■令和5年度の取組の概要

令和5年度の主な取組	課題・今後の方向性
【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上	
(重点取組) ★ 家庭教育支援にしっかり取り組みます	
★就学前施設における「親の学び」講座の普及を図るため、「親の学び」推進園を指定。推進園を核に講座の普及を図った。	★「親の学び」推進園の増加を図るとともに、従来の対面型講座の更なる実施、オンデマンド講座の活用を促進する。
【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり	
(重点取組) ★ 子供たちが安全・安心に学ぶ学校をつくります ★ 貧困の連鎖を教育で断ち切ります	
★いじめ対応として、情報集約担当者向け研修を実施したほか、スクールロイヤーの活用を図った。また、県立学校において「いじめ匿名連絡サイト(スクールサイン)」の運用と生徒への周知徹底を行った。	★児童生徒が安心して学校に相談できる体制の構築・充実を図るとともに、援助希求能力を育成する。
★スクールカウンセラー(97人)やスクールソーシャルワーカー(27人)等の専門家と連携し、不登校児童生徒への早期支援の充実を図った。	★欠席10日に達する前に学校内外の専門機関と連携し、支援をつなぐ「愛の1・2・3運動+1」の取組の更なる推進を図る。
【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	
(重点取組) ★ “生きる力”の基礎となる学力向上を図ります	
★県学力・学習状況調査を実施し、児童生徒一人一人の課題に応じたアドバイス等を示した個人票や課題を克服する学習プリントを提供するなど、調査実施後の課題克服の取組を充実させた。	★調査結果を基に、課題改善についての検証を行い、個人票と課題に応じた学習プリントを活用し克服状況の確認を行いながら児童生徒一人一人に応じた対応の徹底を図っていく。
★各県立高校において「基礎学力定着のための年間指導計画」を策定し、学校訪問等の機会を通じて、指導・助言を行った。	★各校における授業改善や学習指導のさらなる充実とともに、主体的に学ぶ生徒の育成を図る必要がある。
【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える	
(重点取組) ★ 障がいのある子供の学びを支えます	
★教育事務所、市町村教育委員会、各学校長に対して、個別の教育支援計画の確実な引継ぎについて繰り返し周知を行った。また、引継ぎの時期となる令和6年3月に個別の教育支援計画の作成・活用・引継に係るガイドラインを改めて通知した。	★学校訪問等の機会や特別支援学校の特別支援教育コーディネーターの巡回相談等を通して、作成の意義だけでなく、計画の活用についても指導・助言を繰り返し行っていく。

【基本的方向性5】 キャリア教育の充実とグローバル人材の育成	
(重点取組) ★ 英語教育日本一を目指します ★ 進学や就職の夢を叶えます	
★インターンシップの促進を図り、県立高校(全日制)において、91.3%の生徒が実際に参加した。また、産業界と連携したキャリア教育充実の取組みとして、マイスター・ハイスクール事業を実施したほか、新たに県立高校半導体関連人材育成事業を開始し、延べ4,770人の生徒が参加した。	★高校生のキャリア教育のさらなる充実を図るため、熊本県版マイスター・ハイスクールの県内波及を図る。 ★半導体関連産業を中心とする県内産業に対する生徒等の理解や興味関心を向上させる。
★英語外部検定試験受験料に係る市町村への補助や低所得世帯への受験料補助を実施した。	★引き続き英語外部検定試験への生徒の挑戦を支援するとともに、児童生徒の英語力向上に向けた教員研修等の充実を図る。
★国際バカロレアの周知活動として啓発セミナーを2回実施。その他、先進校視察や導入校の成果発表会へ職員を派遣する等、導入に向けた体制づくりを行った。	★国際バカロレアについての認知度が十分ではないため、継続して周知活動を行っていく。
【基本的方向性6】 魅力ある学校づくり	
(重点取組) ★ 魅力ある学校づくりを進めます	
★熊本スーパーハイスクール構想に基づき、42校45課程を県指定事業化したほか、「第2回県立高校学びの祭典」を開催するなど、あり方提言を踏まえた県立高校魅力化の14の取組を推進した。	★「県立高等学校あり方検討会」の提言に基づき、引き続き、魅力化に向けた取組を実施していく。
【基本的方向性7】 子供たちの学びを支える	
(重点取組) ★ 教員の指導力向上を図ります ★ ICT教育日本一を目指します	
★教員の人材確保を図るため、PR動画の作成等を通して本県教員の魅力を積極的に発信した。また、ペーパーティーチャー講習会の実施により、人材の掘り起こしを行った。	★ペーパーティーチャーやUIJターナー等に対する講習会等を通し、引き続き免許保有者の掘り起こしを進める。
★管理職等会議での周知、教職員向けメールの配信、働き方改革支援アドバイザーの派遣等により、教職員の意識啓発を行った。また、全県立学校に学校・保護者間連絡システムや文書事務のRPA*化ソフトを導入し、ICTによる校務効率化を推進した。	★民間コンサルタント等による働き方改革の阻害要因の調査分析及び対応策の構築等を行い、各学校の取組みを推進する。また、校務支援システム見直しや全県立中・高へのデジタル採点・分析ソフトの導入等により、更なる校務の効率化を推進していく。

※RPA…ロボティック・プロセス・オートメーション。ソフトウェア導入による定形作業の自動化。	
★県立学校について、専門高校の実習棟及び圃場等の校内通信ネットワークの整備を行った。	★県立学校及び市町村立学校の1人1台端末の更新について、計画的かつ適切に進めていく。
【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 県スポーツ協会のクラブアドバイザーと連携し、総合型地域スポーツクラブの設置促進等に関する情報交換を全市町村と実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブの更なる設置促進及び指導者の育成、活動内容の充実が必要であり、継続して取り組みを進めていく。
【基本的方向性9】災害からの復旧・復興	
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月豪雨で被災した文化財（国・県指定、国登録）は、復旧対象42件のうち35件が復旧。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、文化財（国指定、国登録）の災害復旧を進める。